

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月29日

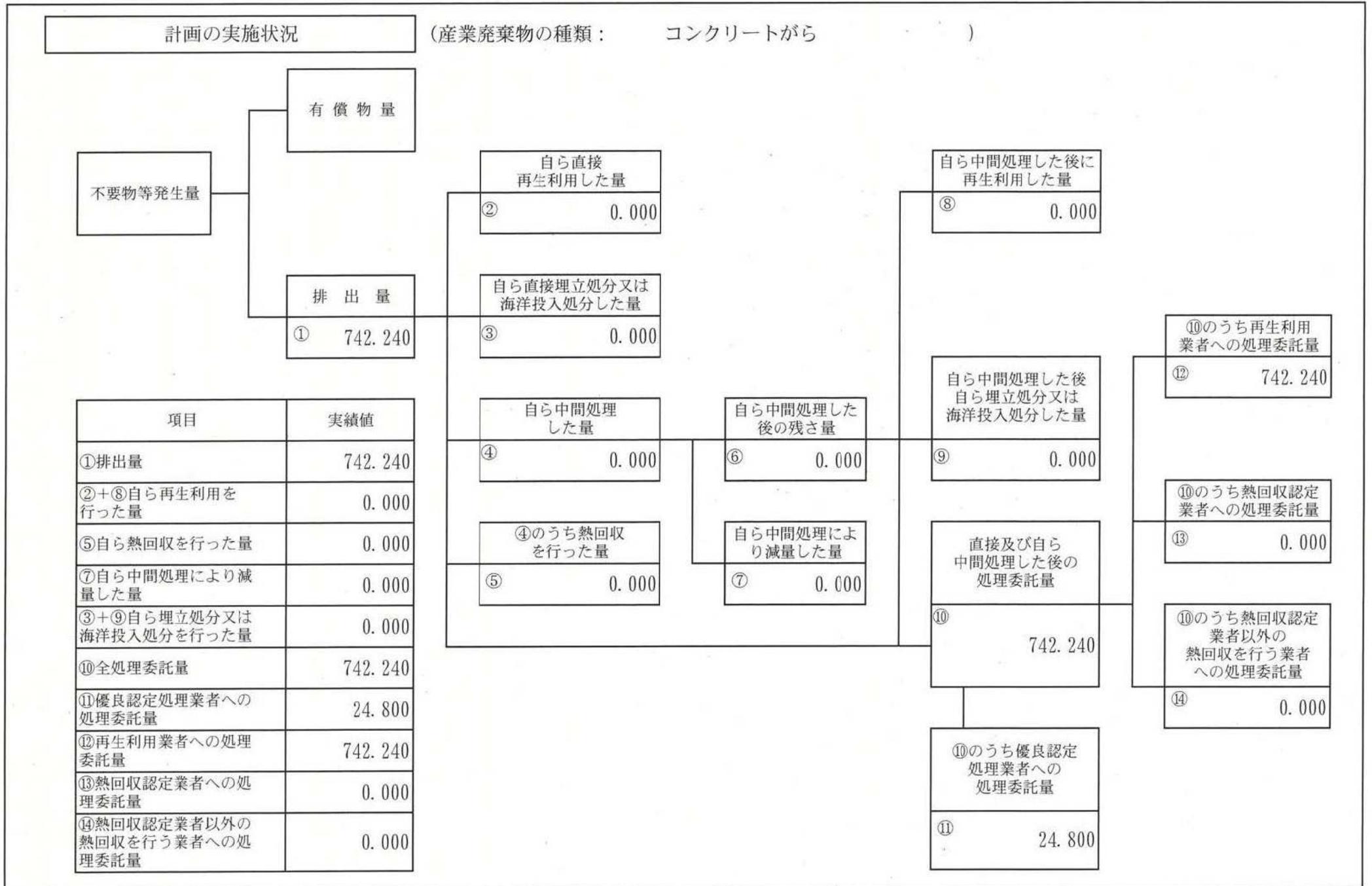
佐賀県知事 山口祥義 殿

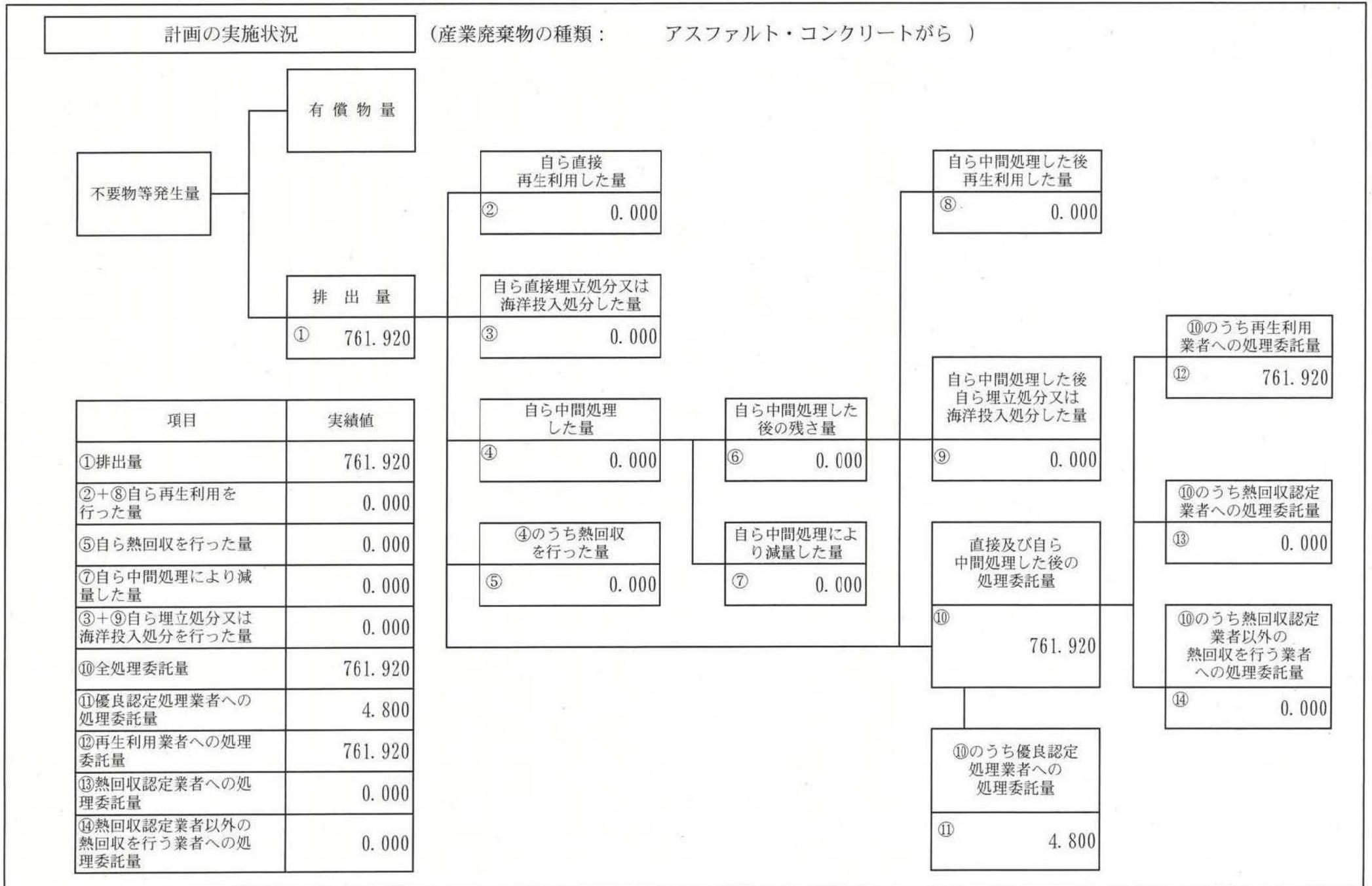
提出者

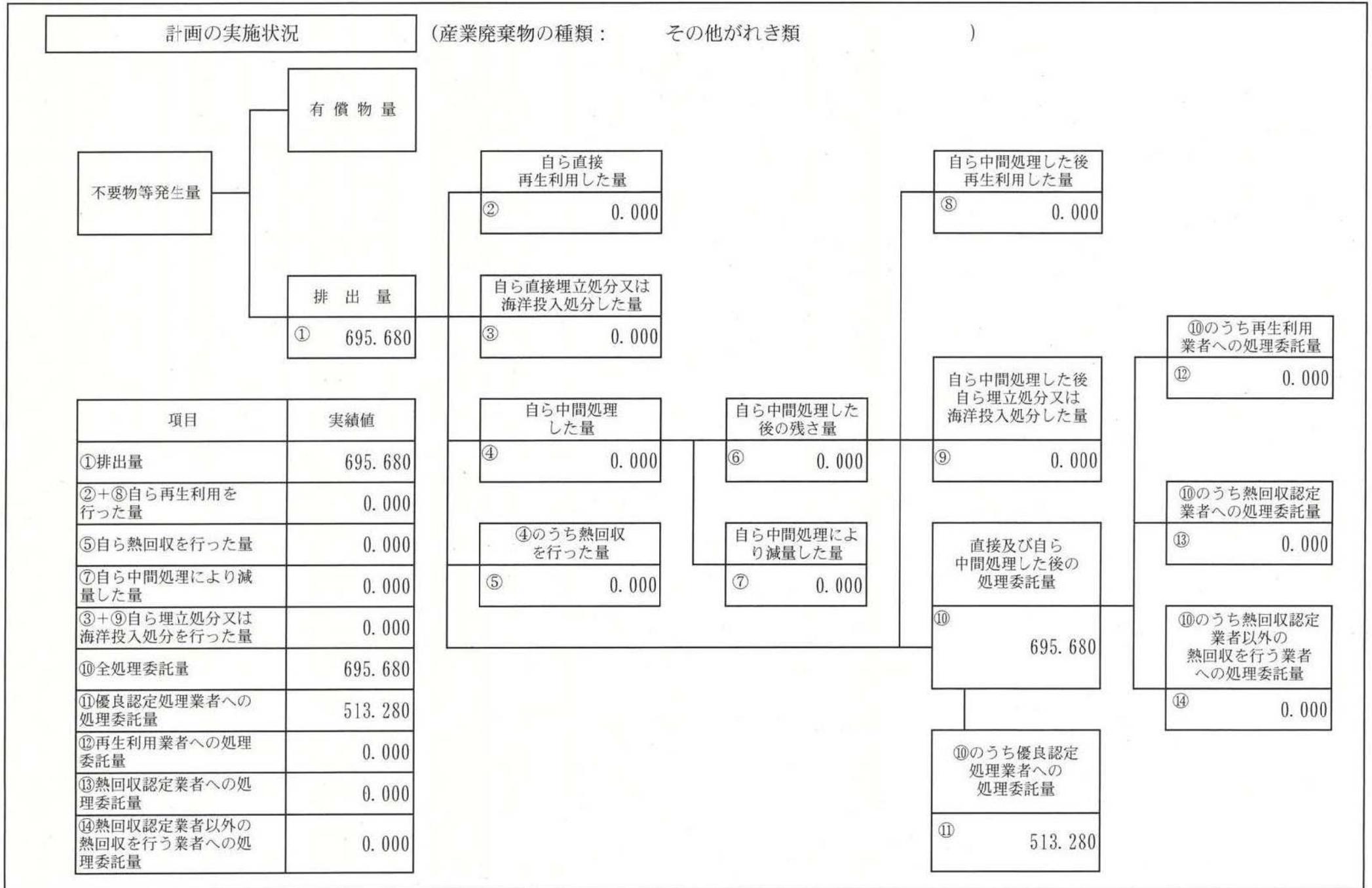
住所 福岡県福岡市中央区大手門一丁目1番7号
JS博多渡辺ビル氏名 大成建設株式会社 九州支店
支店長 西河 誠
(法人にあつては名称及び代表者の氏名)
電話番号 092-475-5701

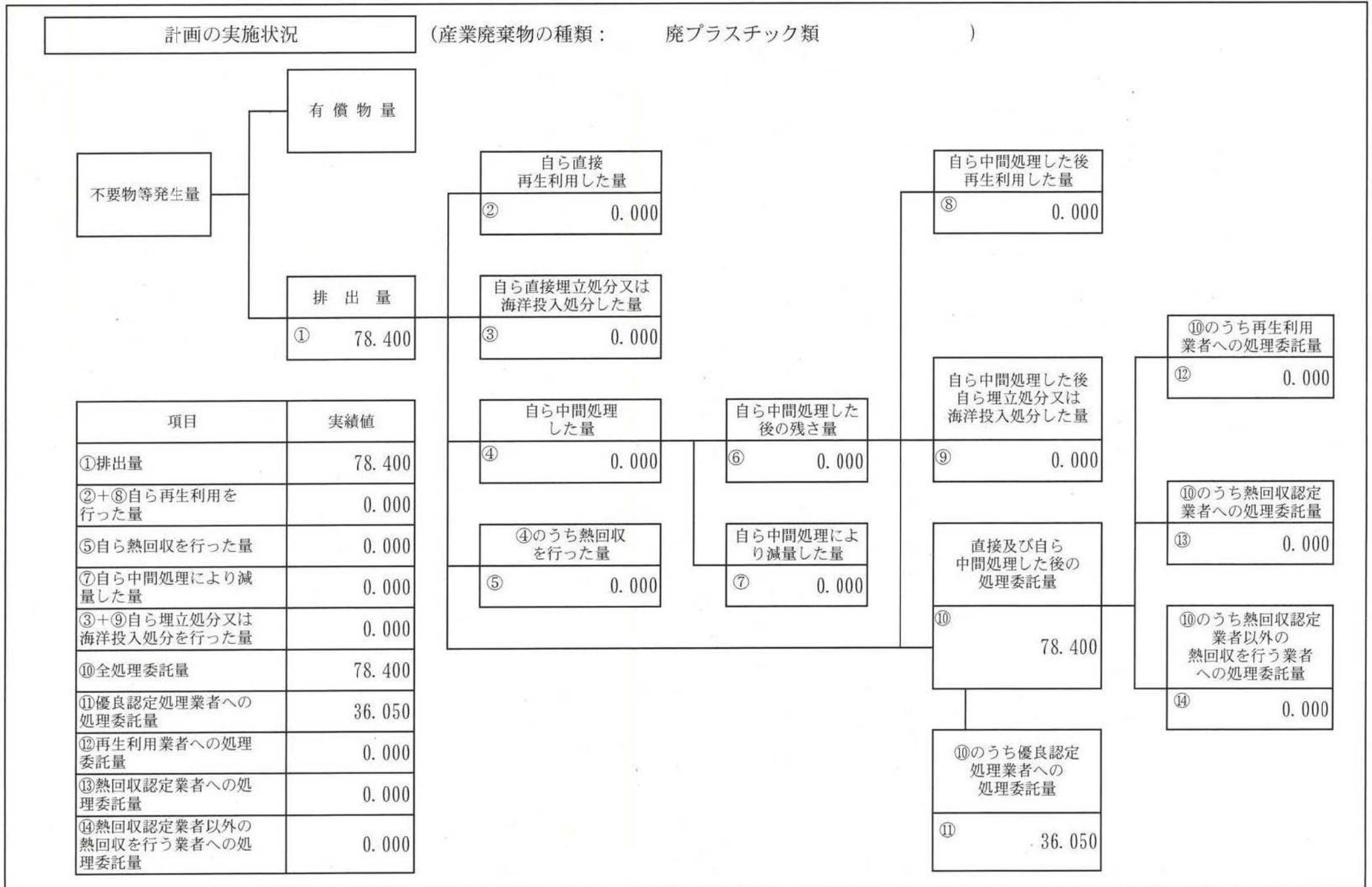
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

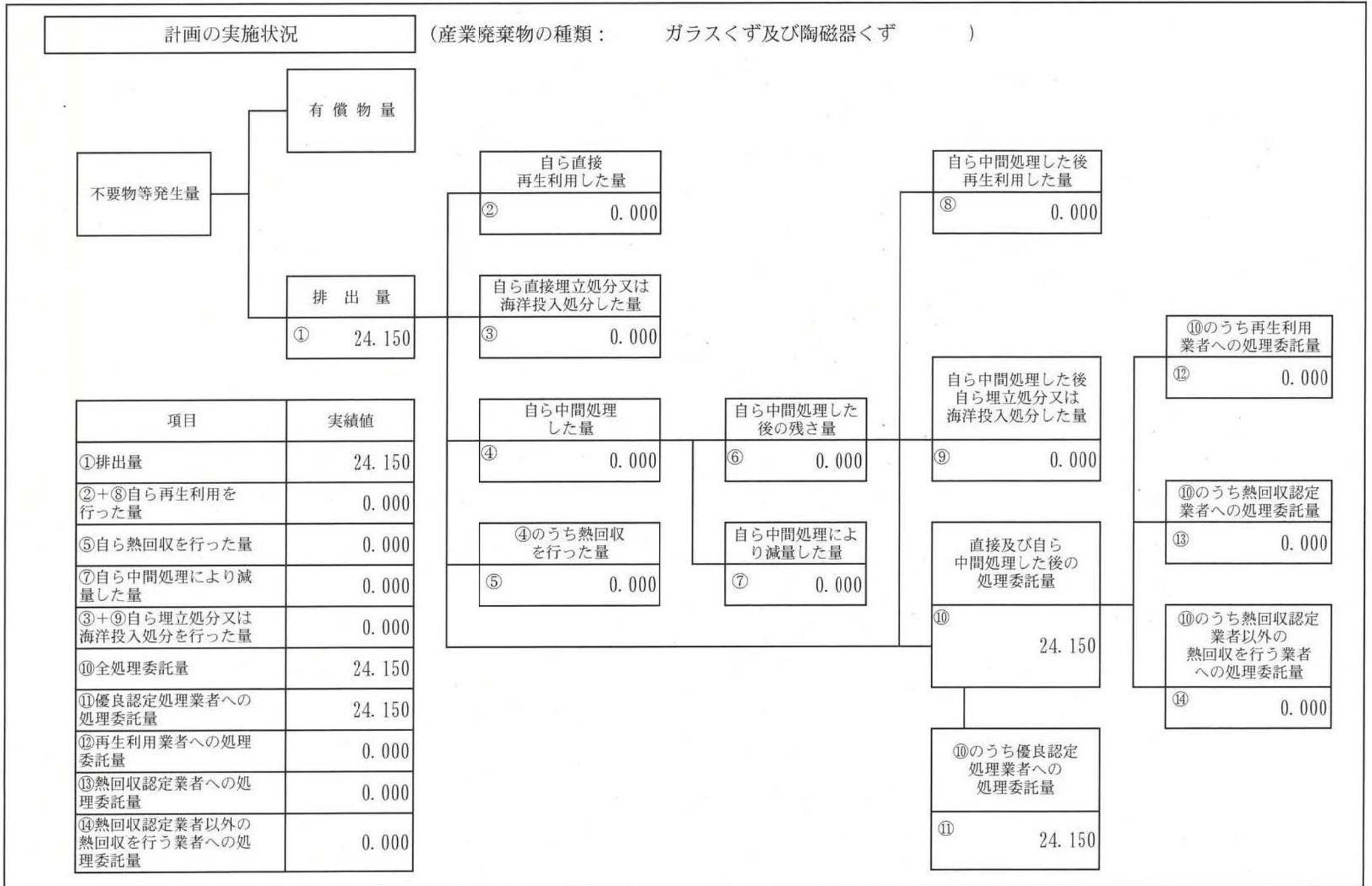
事業場の名称	大成建設株式会社 九州支店 日本通運鳥栖拠点計画作業所他		
事業場の所在地	佐賀県鳥栖市藤木町1584-4		
事業の種類	建設業・総合工事業・一般土木建築工事業(E0611)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,300 t	全処理委託量	1,200 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1,200 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

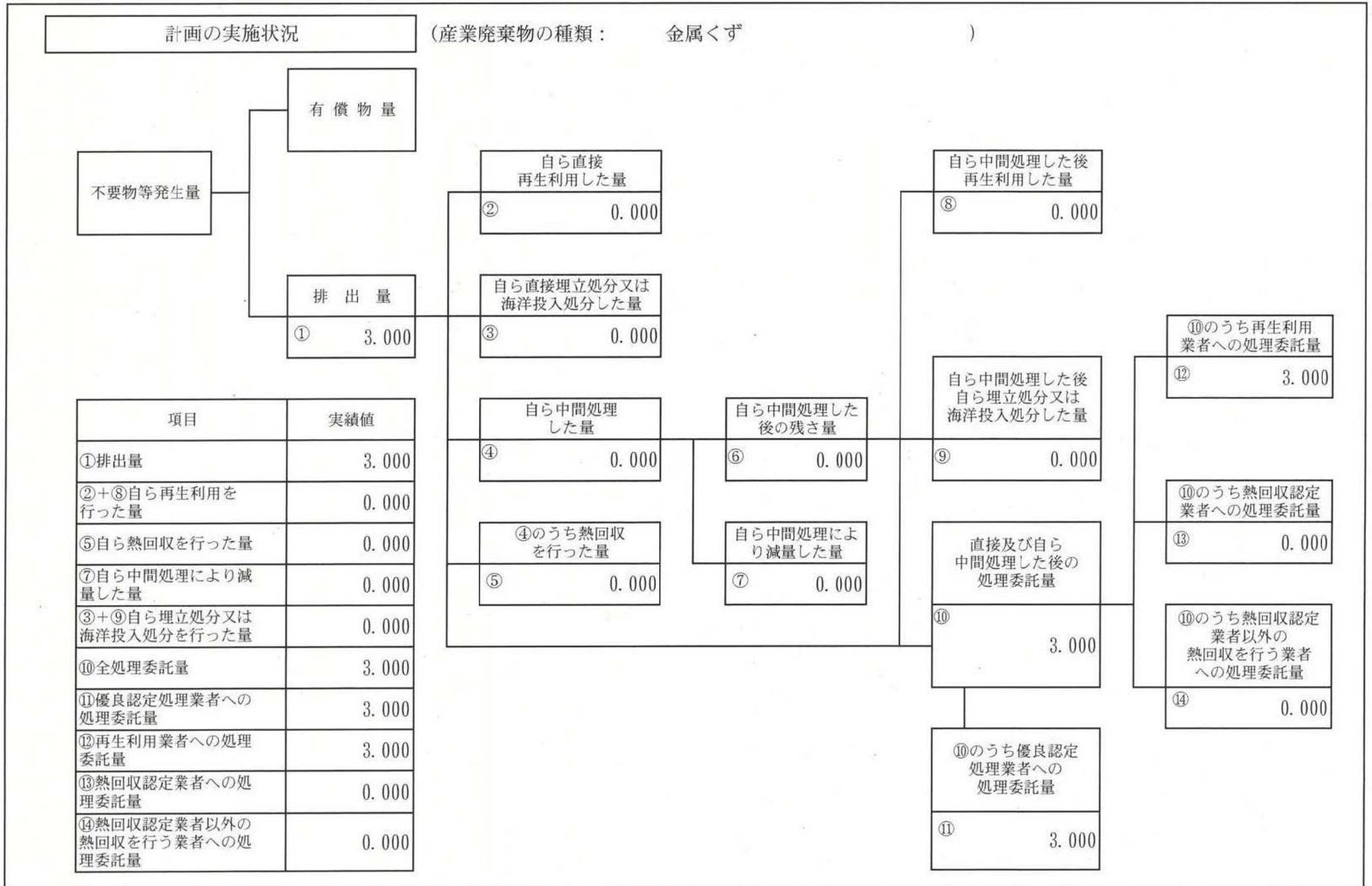


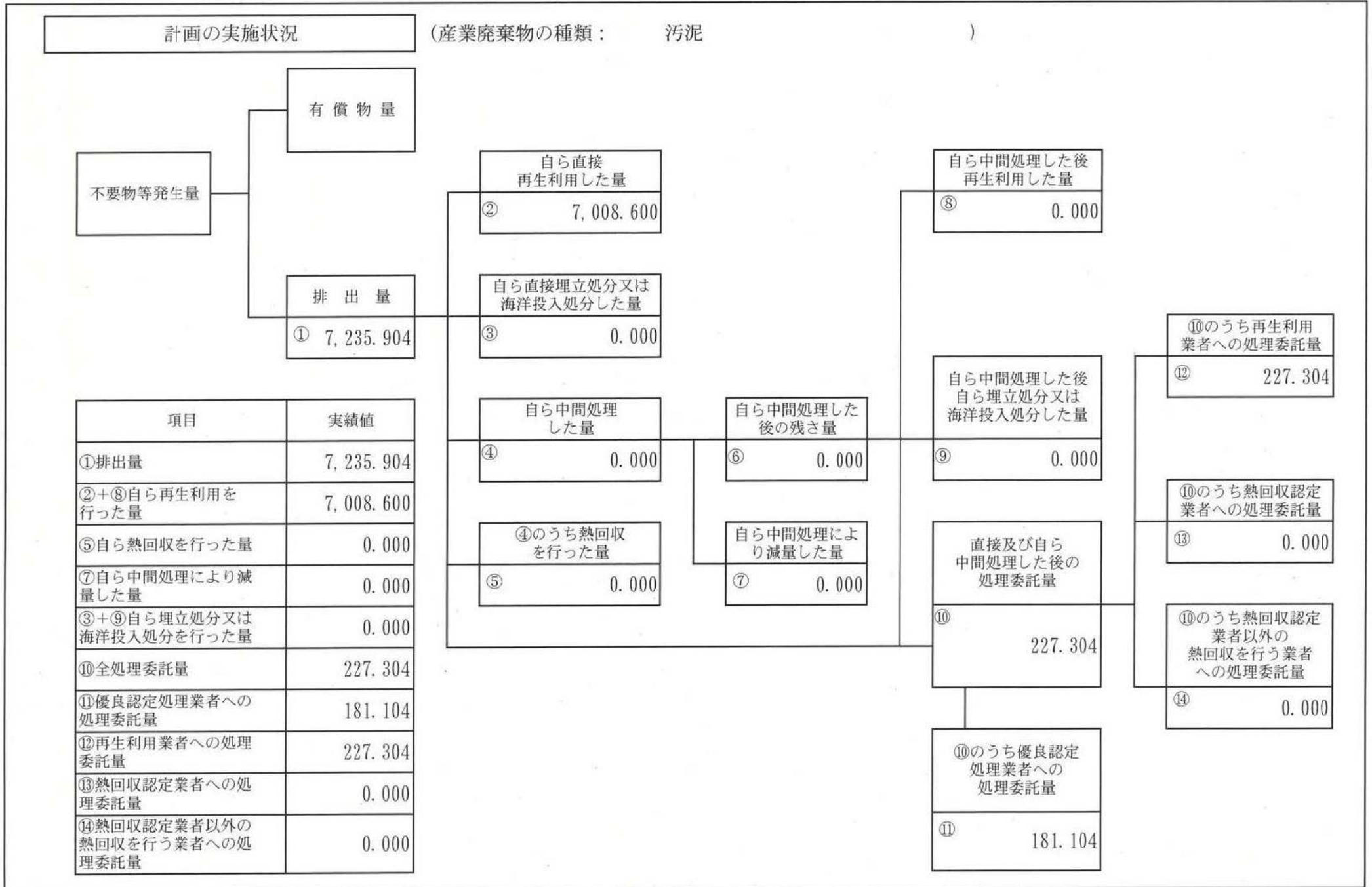


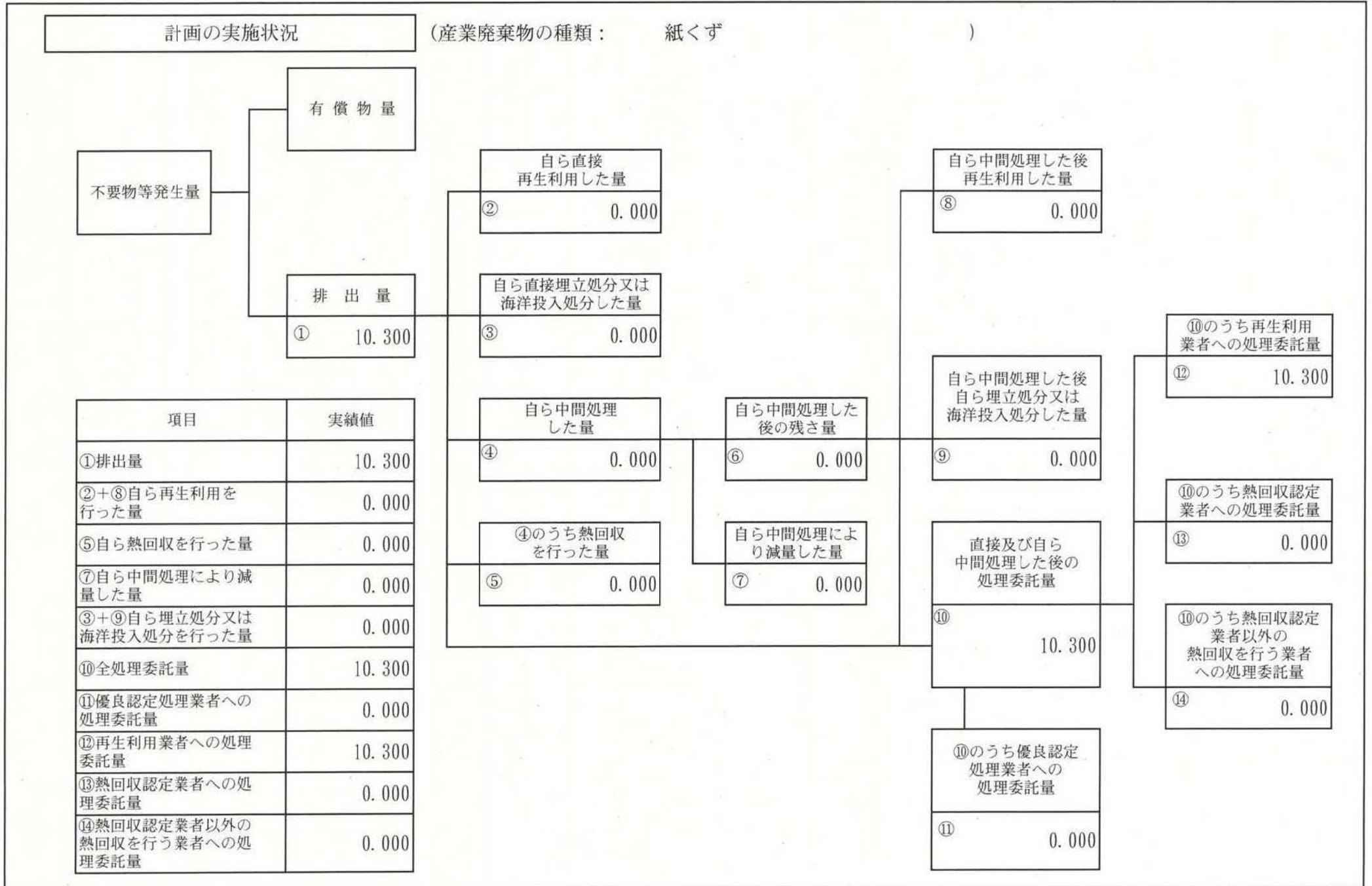


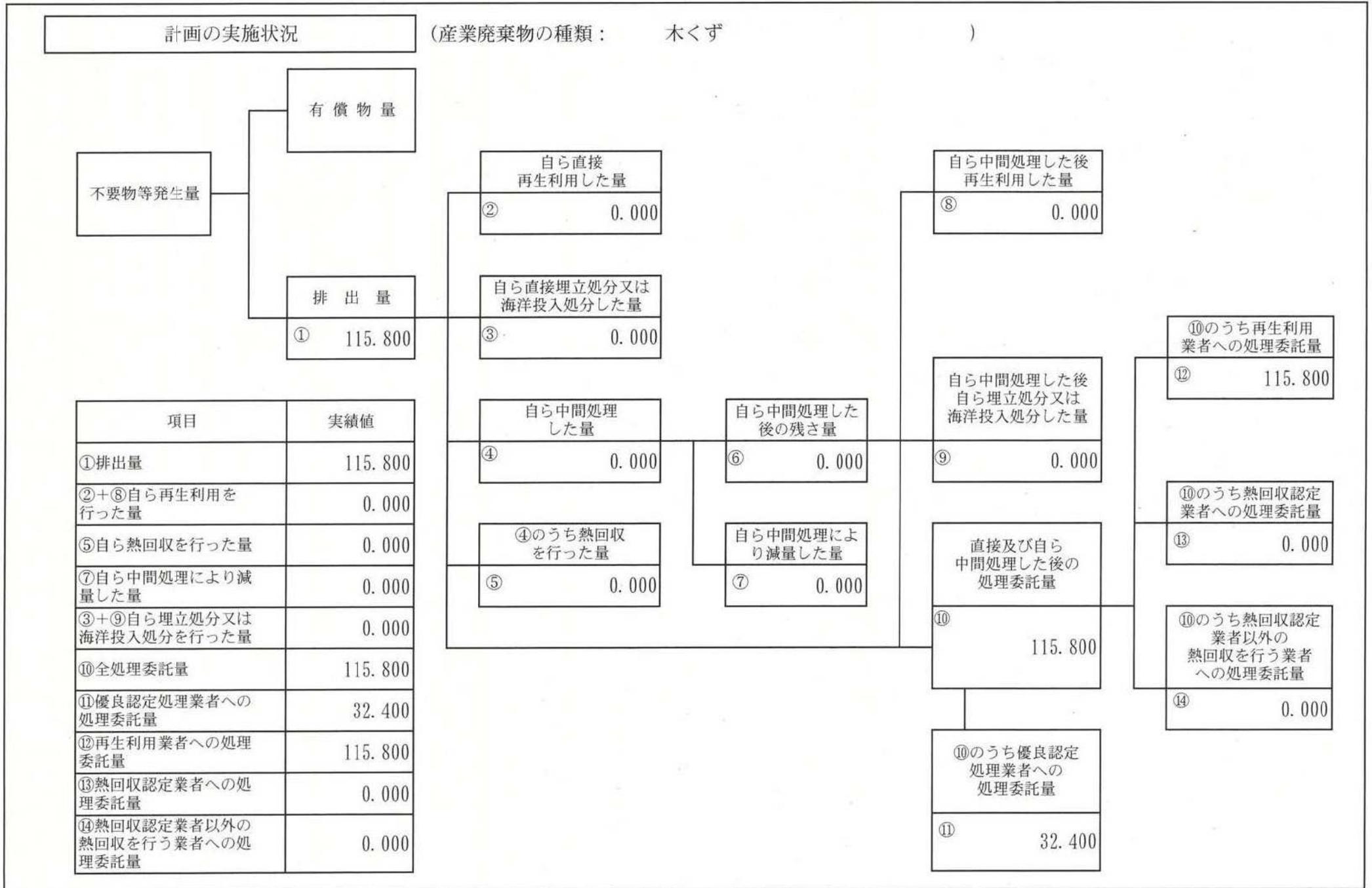


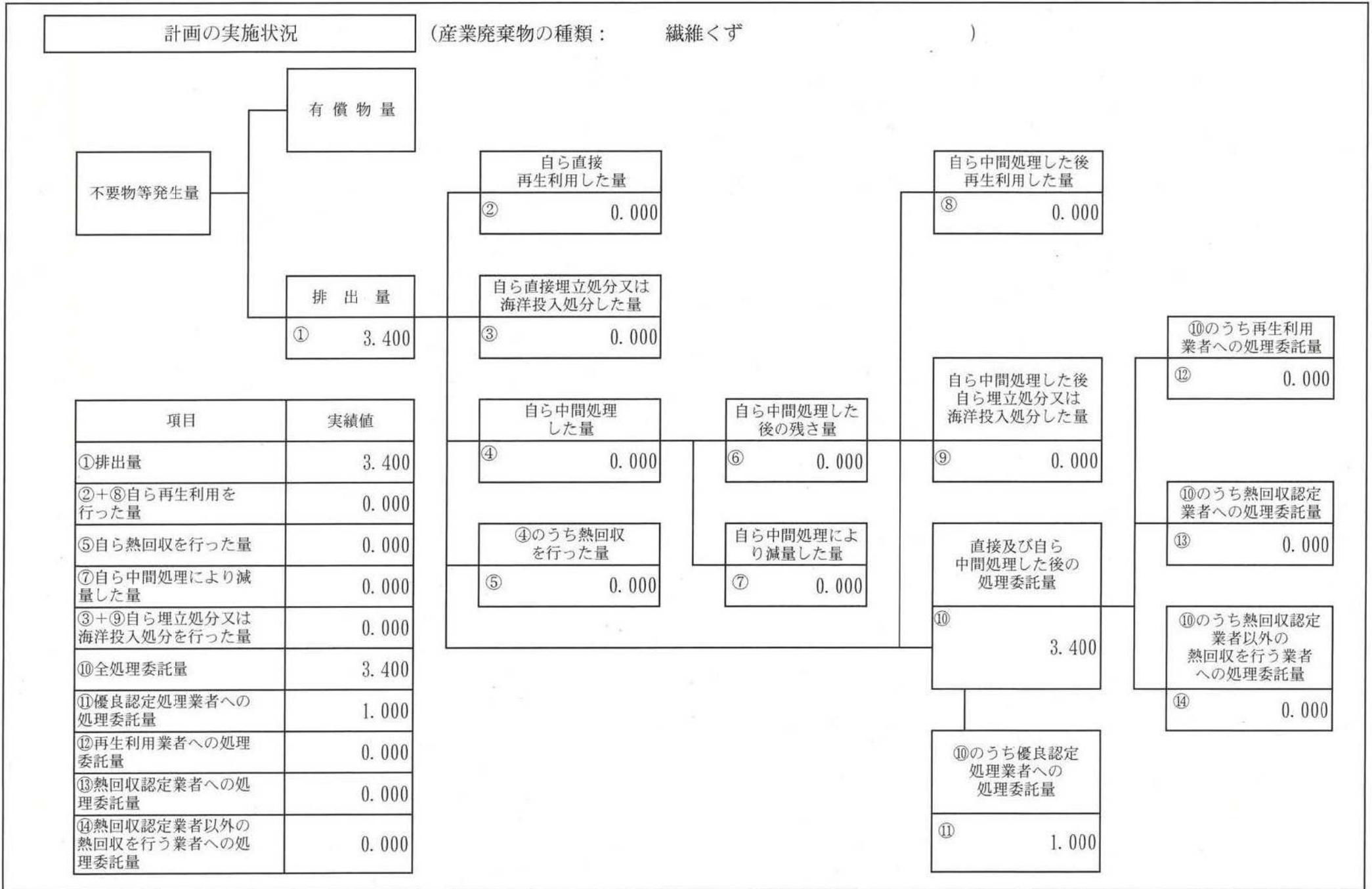


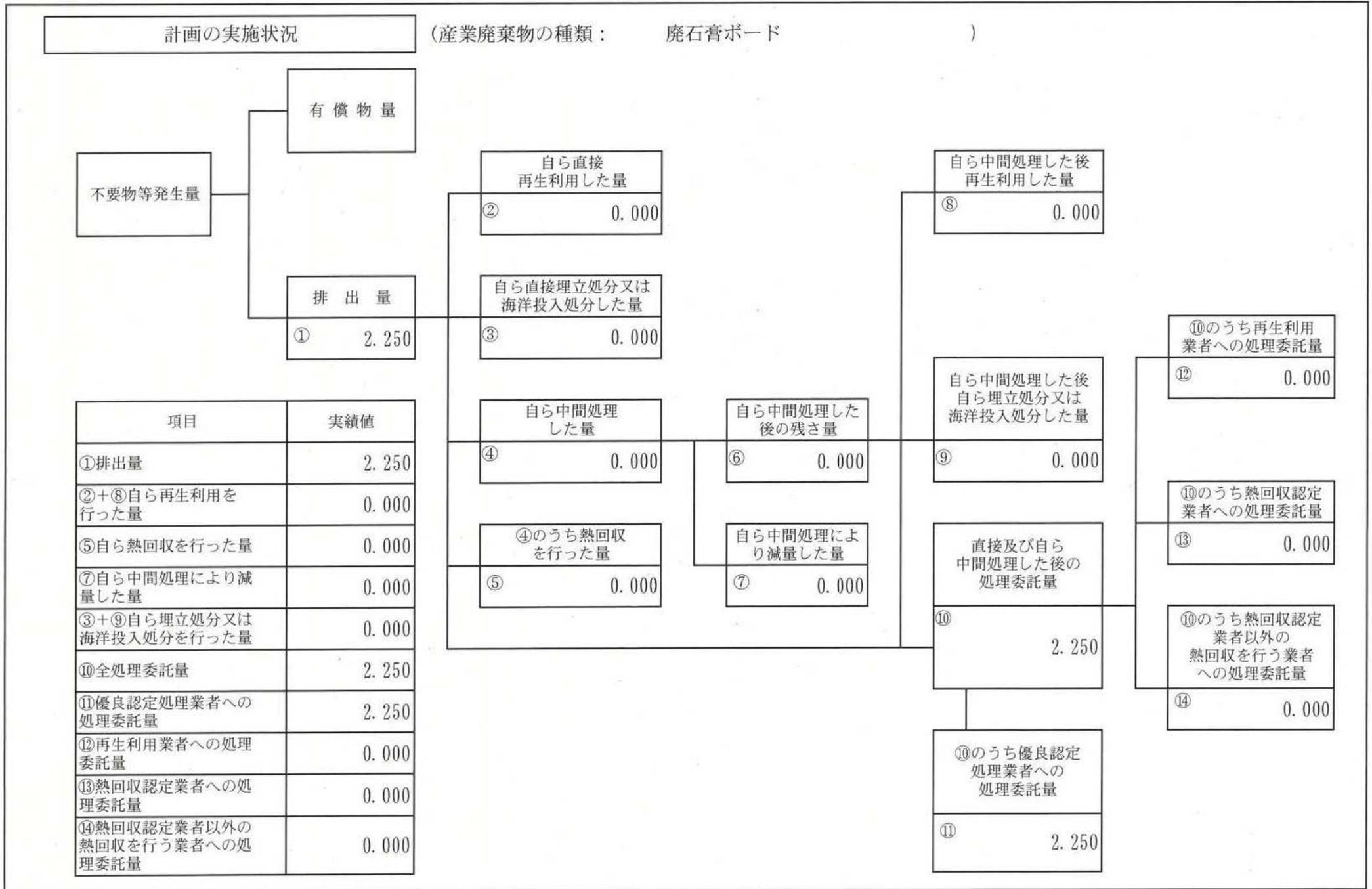


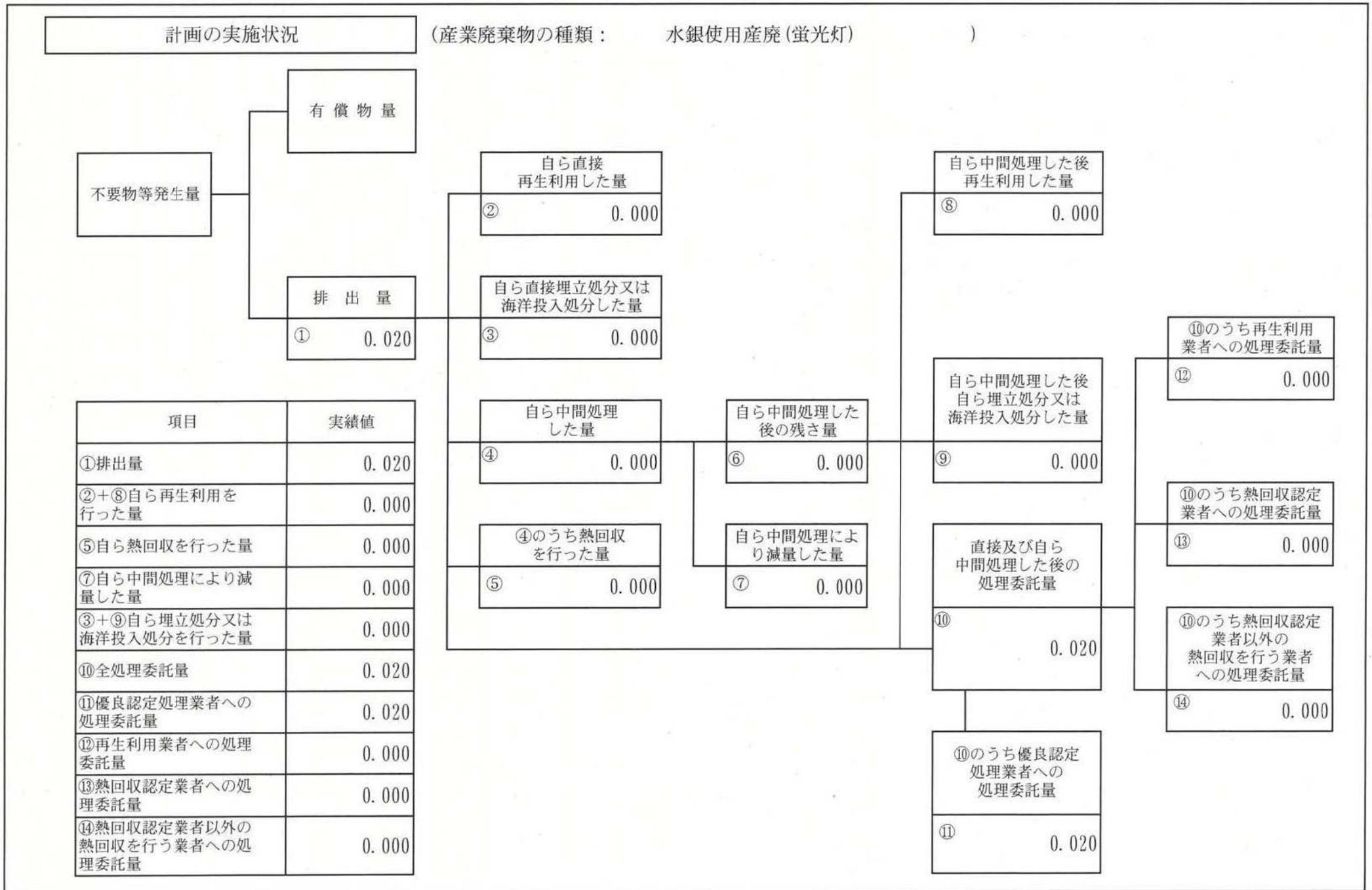


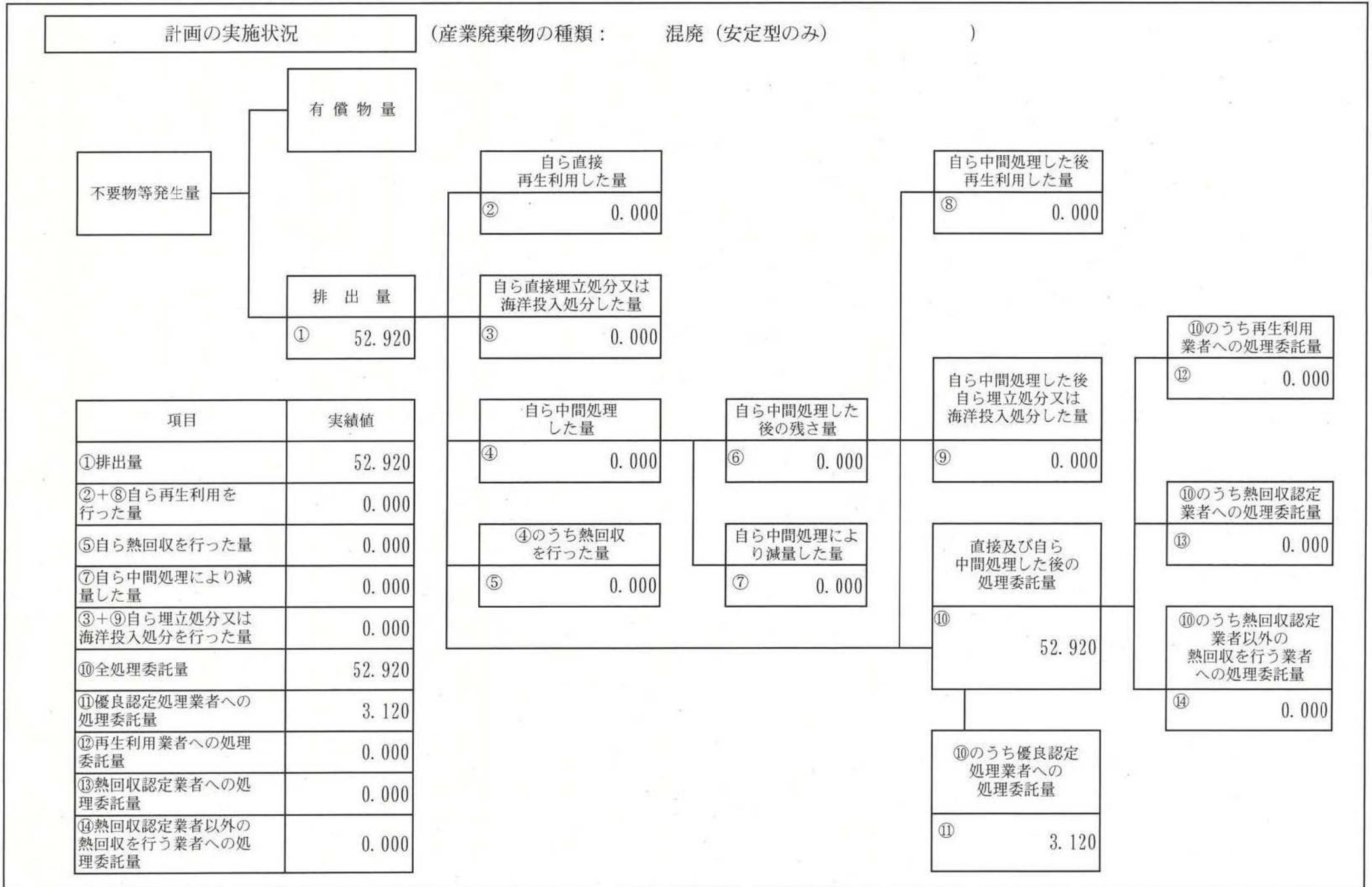


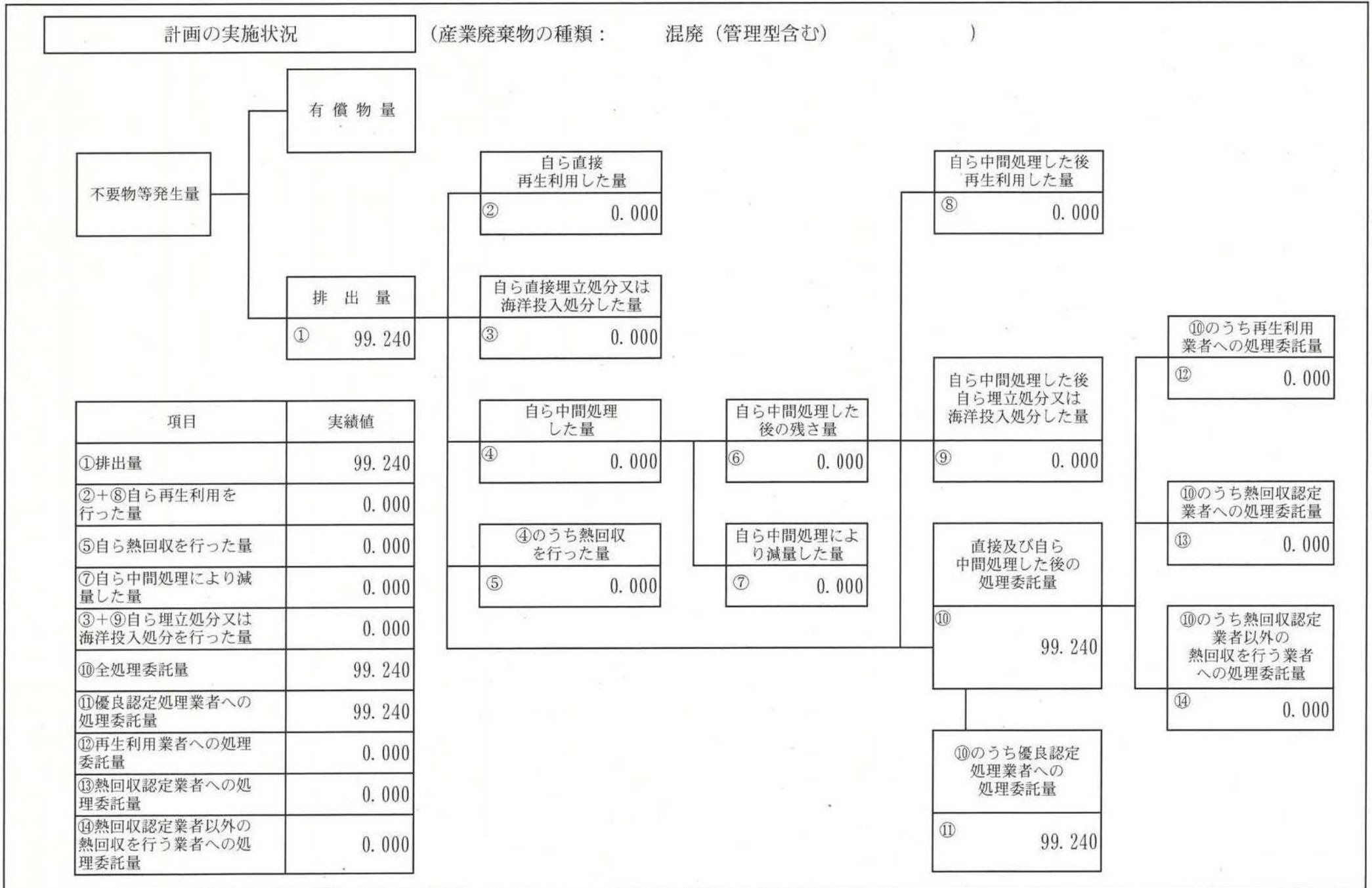


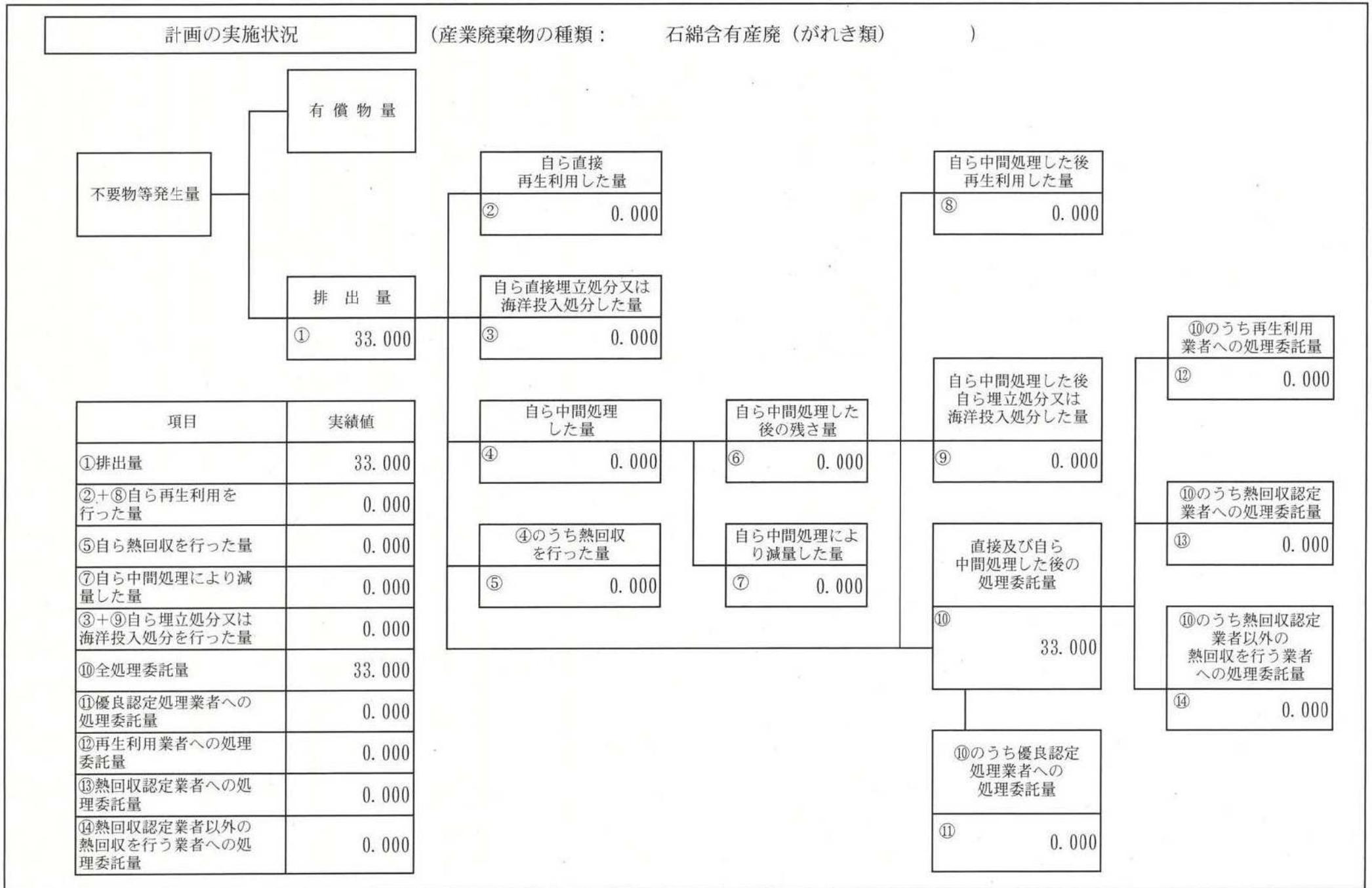












(第3面)

備考

- 1 この報告は、6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物発生量の目標」の欄には、前年度の産業廃棄物処理計画に記載した産業廃棄物発生量に関する目標を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
 - (15) ⑮欄 不要物等発生量のうち、有価物として売却した量及び無償で引き渡した量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画実施状況報告書

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画実施状況報告書																		別紙内訳書	
廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	その他がれき類	廃プラスチック類	ガラスくず及び陶磁器くず	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	珪石骨ボンド	水銀使用産業廃(蛍光灯)	混廃(安定型のみ)	混廃(管理型含む)	石棉含有産業廃(がれき類)	合計	数字(t)		
																	項目	実施値	
① 排出量	742.2	761.9	695.7	78.4	24.2	3.0	7,235.9	10.3	115.8	3.4	2.3	0.0	52.9	99.2	33.0	9,853.2	①排出量	9,858.2	
② 自ら直接再生利用した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7,008.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7,008.6	②+⑧自ら再生利用を行った量	7,008.6	
③ 自ら直接埋立処分した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑤自ら熱回収を行った量	0.0	
④ 自ら中間処理した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0	
⑤ ④のうち熱回収を行った量(内訳)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	③+⑨自ら埋立処分を行った量	0.0	
⑥ 自ら中間処理した後の残存量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑩全処理委託量	2,849.6	
⑦ ④-⑥自ら中間処理により減量した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑪優良認定処理業者への処理委託量	925.2	
⑧ 自ら中間処理後再生利用した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑫再生処理業者への処理委託量	1,860.6	
⑨ 自ら中間処理後、自ら埋立処分した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑬熱回収認定処理業者への処理委託量	0.0	
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	742.2	761.9	695.7	78.4	24.2	3.0	227.3	10.3	115.8	3.4	2.3	0.0	52.9	99.2	33.0	2,849.6	⑭熱回収認定処理業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0.0	
⑪ ⑩のうち、優良認定処理業者への処理委託量	24.8	4.8	513.3	36.1	24.2	3.0	181.1	0.0	32.4	1.0	2.3	0.0	3.1	99.2	0.0	925.2			
⑫ ⑩のうち、再生利用業者への処理委託量	742.2	761.9	0.0	0.0	0.0	3.0	227.3	10.3	115.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,860.6			
⑬ ⑩のうち、熱回収認定処理業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑭ ⑩のうち、熱回収認定処理業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
参考1 ⑩のうち、焼却施設への処理委託量(⑩の内訳)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
参考2 ⑩のうち、焼却以外の中間処理施設への処理委託量(⑩の内訳)	742.2	761.9	695.7	78.4	24.2	3.0	227.3	10.3	115.8	3.4	2.3	0.0	52.9	99.2	0.0	2,816.6			
参考3 ⑩のうち、埋立処分業者への処理委託量(⑩の内訳)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.0	33.0			